



延べ257人の方に参加いただきました

これからの新しい農業の形態として、機械化しても十分黒字になるようにするなど、農業を魅力あるものにし、次世代の農業経営者を育成することが重要であると思う。市としても力を入れてもらいたい。

行田市は、米や麦の生産が盛んな県下有数の穀倉地帯であり、農業は、市の基幹産業の一つだと考えています。

市では、現在、農業の振興を図るため、地産地消を推進するとともに、行田産米のブランド化に向けて準備を進めるなど、さまざまな取り組みを展開しています。

しかしながら、後継者不足など、解決しなければならぬ問題もたくさんあります。農業は、魅力あるものと若い人たちに思ってもらえるよう、若い農業経営者の意見を聴きながら、次世代の農業経営者の育成に積極的に取り組んでいきます。

ささえあいミーティング

平成20年12月から平成21年3月にかけて、市内15地区で「ささえあいミーティング」が開催され、さまざまな意見が出された。費用をかけずにできること、地域住民がやるべきこと、行政でなければできないことなど、意見を集約しまとめてもらったが、もう一歩分析して、地域でできることをいくつかにまとめてもらえば、地域で消化できるのではないか。

市では、平成20、21年度の2カ年で地域福祉計画の策定を進めており、昨年度は市民参加事業として、15カ所の地域公民館単位で「ささえあいミーティング」を実施し、多くの方々に参加をいただきました。

このミーティングの中で出された課題を、市民でできること、行政でできることなどに分類し、地域ごとに解決していく方策を検討できたことは、今後地域福祉を推進していくうえで大きな成果である。

と考えています。

なお、今年度、全地区で「ささえあいミーティング」の報告会を実施しますが、「市民でできること、すぐできること」に分類した課題を中心に、ご提案のような方法も取り入れ、地域ごとに検討していきます。

石田堤の整備を

石田堤の整備を強力に進めてもらいたい。

石田堤は、忍城水攻めを現在に伝える貴重な文化財であり、現在は行田市堤根から鴻巣市袋にかけてのごく一部が残っているだけとなっています。

堤根地区に残る約250mの堤は、往時の雰囲気をよく伝える貴重な遺構であり、埼玉県指定文化財（史跡）に指定され、厳しい保護が求められています。

このようことから、今後もなるべく現状を保持する方向で保護を考えています。石田堤史跡公園として水攻めに関するガイダンス施設が整備されている鴻巣市分と一緒に見学することで、石田堤に関する一層の理解が深まるものと考えていますので、なるべく両方を見学できるように、双方の位置を表示する案内板の設置などについて検討していきます。



多くの意見・提言をいただきました

市長と語る対話集会は、自治会長をはじめ各種団体の代表者の皆さんや公募の市民の皆さんに参加を呼びかけていますが、毎年、公募の参加者が少ないのが現状です。この集会は市民の皆さんご意見をお聴きする大切な機会です。平成22年度も開催する予定ですので、ぜひ参加して皆さんの声を聴かせてください。

▼問い合わせ

広報広聴課広報広聴担当(内線3118)